

仮設住宅の住民による木製ベンチ作製の支援

沿岸広域振興局農林部では、平成24年度地域経営推進費を活用して、釜石市と大槌町の仮設住宅団地に住民が雑談や休憩に利用できる木製ベンチを設置しましたので紹介します。

木製ベンチは、仮設住宅団地内の住民間のコミュニケーション促進と運動不足解消の一助とするため、住民自らが作製できるようにキット化したものを配布しました。

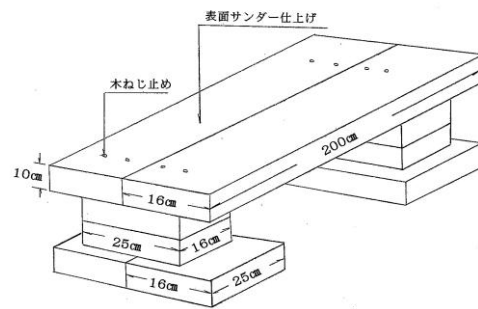
木製ベンチの材料は、釜石地方森林組合が伐採した地域材(スギ)を使用し、地元製材所が製材したものです。

配布数は、釜石市と大槌町にそれぞれ8セットずつを配布しました。

釜石市鶴住居町A仮設団地では、秋晴れのもと5名の方が木製ベンチの組立に参加され、汗を流されました。

参加された方々からは、「ベンチも立派にできたし、何よりこうやって団地の人達と一緒に作業をするのは楽しい」、「顔見知りもできて良かった」と笑顔が絶えませんでした。

木製ベンチ組立図



木製ベンチの製作状況



木製ベンチの設置状況

